

令和元年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

(公共下水道事業特別会計)

(農業集落排水事業特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和元年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和元年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の歳出決算額は、総額で約181億9千万円、前年度に比べ約1.5%、金額にして約2億7千万円の増となっています。

その主な要因は、学童保育所建設工事の実施や小中学校特別教室エアコン設置工事等の大規模な繰越事業の実施によるものですが、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き増加傾向にあり、なかでも幼児教育・保育無償化の開始など子育て支援関連経費が高い伸びを示しています。

一方、厳しい財政状況が続く中、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、昨年度に引き続き高い水準で町税収入を確保することができ、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向けた都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、少子高齢化の克服による持続可能な成長経路の実現を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2019」を定め、「人づくり革命」・「働き方改革」・「所得向上策の推進」の実現に向けた新たな施策を展開すると共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和元年度は、第4次宮代町総合計画後期実行計画の4年目として、重点構想の実現に向け実行計画事業に取り組んだほか、引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた各事業を推進し、地域の資源を最大限に活かしたまちづくりを進めてまいりました。

令和2年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和2年 8月27日

宮代町長 新井康之

令和元年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和元年度は、高齢化を背景とする医療・介護関連経費が上昇したほか、幼児教育・保育無償化の開始等により子育て関連経費が高い伸びを示し、引き続き社会保障関連経費の増加が著しい状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、納税義務者の増加による個人町民税の増及び新築家屋の増加による固定資産税、都市計画税の増を背景に町税全体では前年度に比べ増額となりました。また、各種交付金は、地方消費税交付金が交付原資（県税）の減に伴い減額となるなど、全体でも減額となったものの、地方交付税は、保育需要の拡大及び高齢者人口の増加等による普通交付税基準財政需要額の拡大等に伴い増額し、一般財源総額も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、職員数の増加及び給与改定等により人件費が増額となったほか、幼児教育・保育無償化の開始や高齢化を背景に社会保障関連経費が引き続き増加しました。投資的経費は、国庫補助を活用した学童保育所整備工事や小中学校特別教室等エアコン設置工事等の実施により大幅な増額となりました。その結果、歳出総額は102億2,755万円となり、前年度に比べ約4億7千88万円増額しています。

このような中、令和元年度は第4次宮代町総合計画後期実行計画の4年目として、5つの基本構想の実現に向け、実行計画事業に重点を置いた予算執行に務めました。

「構想1 人、活動、地域をつなげる」では、地域敬老会や地域交流サロンなど地域の人同士が支えあう活動を支援し、一人ひとりの「顔」が見え、「つながり」を実感できる地域社会づくりを行いました。また、自主防災組織が行う防災訓練や研修、防災資機材の整備、防災士の資格取得に対する支援を行い、町民の皆様への安心安全を確保する取り組みを行いました。

「構想2 交流人口を増やす」では、新しい村を舞台にグリーンツーリズム事業を実施し「農」あるまちづくりを町内外へPRするとともに、地域の様々な資源を活用することで町の新たな魅力を創造する宮代つながりイベント和e輪eを実施し、宮代ファン（交流人口）の増加を図りました。

「構想3 定住人口を増やす」では、移住者インタビューと、宮代町での住み方を提案する特集記事、町の魅力を伝える記事を制作し、定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」で発信するなど、交流人口や定住人口の増に繋げることを目指しました。

都市計画事業においては、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想4 産業を結び、活かし、広げる」では、農業の6次産業化を推進するため、宮代産農産物を活用した販促イベント「世界のすうぷ屋さん」を実施し、6次商品のPRを行うとともに、宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等「宮代町地産地消推進の店」として認定し、地産地消の推進を図りました。

「構想5 公共施設の機能と役割の再編」では、公共施設マネジメント計画に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

令和2年度も、引き続き「第4次宮代町総合計画 後期実行計画」及び「宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

令和元年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	元年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,767,817	34.9	111	3,294
2 地 方 譲 与 税	90,322	0.8	3	4,078
3 利 子 割 交 付 金	3,146	0.0	0	△ 2,941
4 配 当 割 交 付 金	20,482	0.2	1	3,561
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,349	0.1	0	△ 3,220
6 地 方 消 費 税 交 付 金	503,938	4.7	15	△ 19,562
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	20,174	0.2	1	△ 16,503
8 環 境 性 能 割 交 付 金	6,106	0.1	0	6,106
9 地 方 特 例 交 付 金	86,635	0.8	3	54,119
10 地 方 交 付 税	2,120,407	19.7	62	49,777
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,151	0.0	0	220
12 分 担 金 及 び 負 担 金	114,763	1.1	3	△ 34,036
13 使 用 料 及 び 手 数 料	71,129	0.7	2	689
14 国 庫 支 出 金	1,173,398	10.9	35	219,944
15 県 支 出 金	702,788	6.5	21	88,845
16 財 産 収 入	17,952	0.2	1	△ 4,951
17 寄 附 金	65,854	0.6	2	△ 2,581
18 繰 入 金	594,324	5.5	17	18,173
19 繰 越 金	587,858	5.5	17	73,359
20 諸 収 入	239,822	2.2	7	21,967
21 町 債	573,711	5.3	17	△ 27,741
歳 入 合 計	10,777,126	100.0	318	432,597

令和2年3月31日現在人口
33,969人

(単位 千円)

30年度		29年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,764,523	36.4	3,768,297	固定資産税の増等による増
86,244	0.8	85,496	交付原資（国税）の増
6,087	0.1	6,070	交付原資（県税）の減
16,921	0.2	20,857	交付原資（県税）の増
15,569	0.1	22,786	交付原資（県税）の減
523,500	5.1	466,038	交付原資（県税）の減
36,677	0.4	35,441	交付原資（県税）の減
0	0.0	0	新規
32,516	0.3	27,700	子ども・子育て支援臨時交付金の交付による増 住宅ローン減税対象者の増に伴う交付原資の増
2,070,630	20.0	1,995,646	保育需要の拡大及び高齢者数の増等に伴う普通交付税の増 その他特殊財政事情分交付額の増に伴う特別交付税の増
3,931	0.0	4,175	交付原資の増
148,799	1.4	226,961	幼児教育・保育無償化に伴う保護者負担金の減
70,440	0.7	69,432	道路占有料の増等に伴う使用料の増
953,454	9.2	1,046,299	幼児教育・保育無償化、プレミアム付商品券発行事業等の 国施策の影響に伴う増
613,943	5.9	600,360	社会保障関連経費の増等に伴う県負担金の増
22,903	0.2	8,458	普通財産売払収入の減
68,435	0.7	98,662	ふるさと納税の減
576,151	5.6	562,558	土地開発基金及び財政調整基金繰入金の増
514,499	5.0	707,506	前年度決算剰余金の増
217,855	2.1	219,607	プレミアム付商品券売上金による増
601,452	5.8	902,095	臨時財政対策債発行可能額の減
10,344,529	100.0	10,874,444	

歳出の状況

款名	元年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議会費	100,022	1.0	3	1,825
2 総務費	1,634,967	16.0	48	△ 107,509
3 民生費	3,905,141	38.2	115	317,940
4 衛生費	805,267	7.9	24	8,292
5 労働費	1,105	0.0	0	△ 1,945
6 農林水産業費	263,708	2.6	8	13,222
7 商工費	106,264	1.0	3	49,658
8 土木費	966,393	9.4	28	36,979
9 消防費	590,955	5.8	17	87,591
10 教育費	1,050,819	10.3	31	64,498
11 公債費	802,870	7.8	24	358
12 諸支出金	38	0.0	0	△ 30
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	10,227,549	100.0	301	470,879

令和2年3月31日現在人口
33,969人

(単位 千円)

30年度		29年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
98,197	1.0	98,326	議会の録画配信開始に伴う増
1,742,476	17.9	1,980,908	公共施設整備基金積立金の減 西原自然の森用地取得の完了に伴う減
3,587,201	36.8	3,638,914	幼児教育・保育の無償化に伴う給付金の増 学童保育所整備実施による増
796,975	8.2	796,304	ごみ集積所退避スペース設置工事による増 災害廃棄物処理計画策定委託による増
3,050	0.0	3,050	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
250,486	2.6	235,271	新しい村施設整備工事による増
56,606	0.6	63,383	プレミアム付商品券発行事業実施による増
929,414	9.5	1,134,964	都市計画事業の進捗による増
503,364	5.1	546,196	消防団（第2分団）詰所建替工事に伴う増
986,321	10.1	1,093,615	小中学校エアコン設置工事に伴う増
802,512	8.2	768,934	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始に伴う増
68	0.0	81	
0	0.0	0	
9,756,670	100.0	10,359,946	

令和元年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	元年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,698,356	16.6	91,287
うち 職 員 給	1,140,470	11.2	55,162
2 物 件 費	1,562,382	15.3	95,602
3 維 持 補 修 費	60,475	0.6	3,933
4 扶 助 費	1,925,857	18.8	136,860
5 補 助 費 等	1,307,243	12.8	△ 12,103
一部事務組合に対するもの	944,245	9.3	△ 7,038
そ の 他	362,998	3.5	△ 5,065
6 普 通 建 設 事 業 費	742,300	7.3	204,795
補 助 事 業 費	367,285	3.6	249,341
単 独 事 業 費	368,175	3.6	△ 47,600
県 営 事 業 負 担 金	6,840	0.1	3,054
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	802,869	7.9	357
8 積 立 金	341,401	3.3	△ 45,789
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	400	0.0	△ 5,600
11 繰 出 金	1,786,266	17.4	1,537
合 計	10,227,549	100.0	470,879

(単位 千円)

30年度		29年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
1,607,069	16.5	1,591,626	職員数の増 給与改定に伴う増
1,085,308	11.1	1,067,782	職員数の増 給与改定に伴う増
1,466,780	15.0	1,593,623	固定資産税評価替調査委託料の増 各種選挙執行による増
56,542	0.6	59,165	
1,788,997	18.3	1,785,716	介護給付・訓練等給付費の増 幼児教育・保育の無償化に伴う給付金の増
1,319,346	13.5	1,300,340	
951,283	9.8	957,771	久喜宮代衛生組合負担金の減 埼玉東部消防組合負担金の減
368,063	3.8	342,569	固定資産税過誤納金還付金の減
537,505	5.5	956,158	
117,944	1.2	299,561	東武動物公園駅東口周辺整備事業の進捗による増 学童保育所整備実施による増
415,775	4.3	604,998	西原自然の森用地取得の完了に伴う減
3,786	0.0	51,599	東武動物公園駅東口周辺整備事業にかかる街路事業負担金の増
0	0.0	0	
0	0.0	0	
802,512	8.2	768,934	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
387,190	4.0	530,176	財政調整基金積立金及びまちづくり基金積立金の減
0	0.0	0	
6,000	0.1	6,000	
1,784,729	18.3	1,768,208	介護保険特別会計繰出金の増
9,756,670	100.0	10,359,946	

地 方 債 現 在

区 分	平成30年度末 現在高 A	令和元年度 発行額 B
1 普 通 債	2,855,984	201,700
(1) 総 務 債	435,307	17,500
(2) 民 生 債	633,405	39,300
(3) 衛 生 債	453,124	
(4) 土 木 債	1,088,608	55,500
(5) 消 防 債	24,832	31,300
(6) 教 育 債	220,708	58,100
2 そ の 他	5,902,515	372,011
(1) 減 税 補 て ん 債	106,058	
(2) 臨 時 財 政 対 策 債	5,796,457	372,011
合 計	8,758,499	573,711

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借 入 先	利率別	平成30年度末 現在高 A	令和元年度 発行額 B	令和元年度 元金償還額 C	令和元年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省		4,023,905	281,569	380,992	3,924,482
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構		294,425		25,084	269,341
3 地方公共団体金融機構		3,203,524	193,142	180,423	3,216,243
4 市中銀行等		1,061,190	81,500	130,392	1,012,298
5 共済組合等		39,455		8,982	30,473
6 埼 玉 県		136,000	17,500	13,850	139,650
合 計		8,758,499	573,711	739,723	8,592,487

高 の 状 況

(単位 千円)

令和元年度 元金償還額 C	令和元年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
280,455	2,777,229	1,274,408	1,502,821
39,375	413,432		413,432
52,550	620,155	360,187	259,968
35,333	417,791	121,565	296,226
118,544	1,025,564	792,656	232,908
1,272	54,860		54,860
33,381	245,427		245,427
459,268	5,815,258	2,919,415	2,895,843
26,284	79,774	79,773	1
432,984	5,735,484	2,839,642	2,895,842
739,723	8,592,487	4,193,823	4,398,664

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和元年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以 下	2.0% 以 下	2.5% 以 下	3.0% 以 下	3.5% 以 下	4.0% 以 下	4.5% 以 下	5.0% 以 下	5.0% 超
3,670,718	66,383	173,277	5,083	4,573			4,448	
93,267		176,074						
2,601,300	595,510	5,514	5,980	5,014			2,925	
773,674	238,624							
30,473								
139,650								
7,309,082	900,517	354,865	11,063	9,587			7,373	

令和元年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	元年度	30年度	29年度
歳入総額 A	10,777,126	10,344,529	10,874,444
歳出総額 B	10,227,549	9,756,670	10,359,946
歳入歳出差引額 (A - B) C	549,577	587,859	514,498
翌年度へ繰越すべき財源 D	74,808	90,640	84,972
実質収支 (C - D) E	474,769	497,219	429,526
単年度収支 F	△ 22,450	67,693	△ 190,941
財政調整基金積立金額 G	248,831	215,125	310,821
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	260,594	130,909	172,620
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 34,213	151,909	△ 52,740

2 基金の現在高

(単位 千円)

	元年度	30年度	29年度
財政調整基金	1,144,851	1,156,614	1,072,398
(主な増減理由) 財源調整のための取り崩しによる減			
減債基金	3,514	3,514	3,513
(主な増減理由)			
公共施設整備基金	559,255	545,807	479,677
(主な増減理由) 借地解消の財源としての積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	3,606	4,991	4,402
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	86,381	87,929	144,218
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	328,736	381,586	381,519
(主な増減理由) 用地購入費の財源としての取り崩しによる減			
育英基金	19,628	25,321	31,341
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	1,572	0	0
(主な増減理由) 新たな基金設立による増			
合 計	2,147,543	2,205,762	2,117,068

3 財政指標

	元年度	30年度	29年度
実質公債費比率	6.5%	6.5%	6.6%
将来負担比率	13.0%	14.5%	14.8%
財政力指数	0.635	0.636	0.633
経常収支比率	94.0%	93.7%	93.6%
実質収支比率	7.1%	7.5%	6.6%
標準財政規模	6,710,416千円	6,667,171千円	6,524,271千円

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	元年度	30年度	29年度
住民基本台帳	33,969	33,971	33,991

5 国勢調査

(単位 人)

	27年国勢調査	22年国勢調査	17年国勢調査
人口	33,705	33,641	34,620
第1次就業人口	315	353	480
第2次就業人口	3,551	3,499	3,802
第3次就業人口	10,861	11,221	11,902
(分類不能)	854	606	302

6 職員数等の状況

	元年度	30年度	29年度
(一般職員)職員数	180人	172人	171人
平均年齢	45.20歳	45.06歳	45.10歳
一人当たりの給料月額	322,958円	327,941円	330,638円
ラスパイレス指数	94.1	94.6	94.4

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

人権尊重平和事業

[人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理運営事業]

人権推進室 内線 210
 学校教育担当 内線 423
 生涯学習室 内線 431

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,451,000	2,892,058	30,000	0	0	0	2,862,058

◎ 令和元年度の事業実績 (成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業として朗読劇を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①人権教育推進協議会研修会 6月21日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ②教職員人権教育研修会 8月22日 町立図書館ホール
- ③人権問題合同研修会

1月27日 コミュニティセンター進修館小ホール

講演テーマ：人権の現状と課題

講師：水島輝彦氏（埼玉葛都市人権施策推進協議会理事）

人権啓発DVD「君が、いるから」視聴



■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を宮代町出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

■男女共同参画セミナーの実施

1月25日 コミュニティセンター進修館小ホール

講演テーマ：性はグラデーション～LGBTについて考える～

講師：遠藤まめた氏

(LGBTユースの居場所「にじーず」代表)

■男女共同参画情報誌「ふらふら」の発行

男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画社会推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。



令和元年度宮代町男女共同参画セミナー

性は グラデーション

～LGBTについて考える～

多くの人は身体の特徴と心の性が一致していて、好きになる性は異性ではありません。しかし、私たちの性には生物学的な性だけでなく、心の性、好きになる性、異性以外の性など様々な性があります。多様性について一緒に考えてみましょう。

講師 遠藤まめたさん

1987年埼玉生まれ。LGBTの平井氏、萩原氏と関わり、LGBTの平井氏と結婚し「にじーず」代表。著書に「性多様性のある社会をデザインしよう」があるがマンガアットワーク（合同出版）刊。

1/25 (土)

14:00～15:30 (開場 13:30)

場所 コミュニティセンター進修館・研修室

一時保育あり

無料

1歳以上の本館学の子供を預かります。
 費用：お子さま1名あたり200円です。
 申込期間：1月17日(前)17:00まで

お問い合わせ
 宮代町総務課人権推進室 ☎0480-34-1111 内線210

主催/宮代町男女共同参画社会推進会議 宮代町
 協賛/埼玉県男女共同参画社会推進協議会

■人権・男女共同参画職員研修の実施

様々な人権に関する理解を深めることを目的に職員を対象とした研修会を開催しました。

1月23日、24日 午前・午後 計4回 コミュニティセンター進修館小ホール

講演テーマ：性の多様性／LGBTについて

講師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

■ドメスティック・バイオレンスに関する職員研修の実施

ドメスティック・バイオレンス被害者支援を適切かつ迅速に行うために、ドメスティック・バイオレンスに関する知識と理解を深め、支援体制の充実を図ることを目的に職員対象に研修会を開催しました。

①保育士対象基礎研修 1月30日

講演テーマ：「DVってなに？～保育園も無関係ではられない～」

講師：武井喜代美氏（ドメスティック・バイオレンス被害者支援ファシリテーター）

②宮代町ドメスティック・バイオレンス被害者支援連携担当者会議 2月27日

講演テーマ：DV防止と地域における連携 ～女性相談の現場から～

講師：賀谷恵美子氏（一般社団法人女性相談ネット埼玉）

■平和啓発事業の実施

平和事業の推進を目的として、事業を実施しました。

①朗読劇「私たちと原爆 ～わすれてはならないあの日～」

7月27日 町立図書館ホール

②原爆写真展 7月17日～8月10日 町立図書館展示ホール



★ 後期実行計画の目標とその工程

市民が、まちづくりへの取り組みや普段の生活の中で、互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会の実現を図るため、人権尊重をまちづくりの基本に据えて、行政と市民が一体となって取り組んでいきます。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	R1	R2	
人権教育研修会、出前講座の実施	総務課 教育推進課						
男女共同参画セミナーの実施	総務課						
平和パネル展、平和啓発事業の実施	総務課						

後期実行計画の成果目標(令和2年度)

住民意識調査のまちづくり満足度向上:「人権擁護、男女共同参画の取り組み」について
 平成26年度 22.6% ▶▶▶ 令和2年度 40%

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
106,747,000	34,578,131	0	0	17,500,000	5,881,400	11,196,731

◎ 令和元年度の事業実績 (成果)

「公共施設マネジメント計画」に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

<実施内容>

■ 小中学校の適正配置 11,196,731 円

小中学校の適正配置計画の検証等に向けて、宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会を設置し、会議を4回開催しました。また、審議会委員による先進地への視察研修を実施し、その様子を教育だより「みやしろ」を通じてお知らせしました。

さらに、小学校校舎の構造躯体の健全性を把握するため劣化診断を実施しました。

■ 「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づく用地の取得 23,381,400 円

借地の解消については、「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づき、国納保育園の用地(1,758 m²)を取得しました。

★ 後期実行計画の目標とその工程

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	R1	R2	
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	▶					
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	▶					
借地の解消	企画財政課	▶					

後期実行計画の成果目標(令和2年度)

公共施設等総合管理計画の策定

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、郷土資料館・総合運動公園・図書館など各施設の効果的な管理運営に努め、教育の基本理念である「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を実現するべく各種事業に取り組み、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。また、体力面でも「埼玉県新体力テスト」の結果から本町の児童生徒は高い水準を保っています。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、17年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、教師による合同研修会や授業研究会、中学校生徒による小学校での体育支援や学習支援等も行われるようになり、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育てるとともに、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室を1教室増設し2教室となり、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、学校評議員会の充実を図り、その提言や意見を活用し地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、登校状況が改善されたケースも見られました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、特別教室にエアコンを設置しました。小学校施設については、劣化診断を行い、今後の施設の適切な維持管理を行うための状況を把握しました。

学校給食では、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和元年度には米類20.4トン、野菜等12.9トン、合わせて32品目、33.3トンを使用しました。

また、宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会を令和元年7月に再設置しました。審議会では平成28年3月に策定した宮代町立小中学校適正配置計画等の検証を行うとともに群馬県甘楽郡甘楽町での現地研修を実施しました。

2. 生涯学習

生涯学習のまちづくりを進めるため、みやしろ大学、町民文化祭、成人式をはじめとした各種事業を開催しました。

みやしろ大学では、運営委員の協力のもと、足育、消費者被害、音楽など、多彩なテーマで企画された計8講座に、延べ1,293人が参加され、高齢者の生きがいや健康づくり、仲間づくりのきっかけに効果をあげることができました。

宮代の文化の祭典である町民文化祭においては、41回目を迎え、舞台発表や作品展示などに延べ3,190人が参加され、日頃の活動成果を発表されたほか、マリンバ奏者の塚越慎子氏を招いた文化公演会では286人が来場し、大盛況の演奏会となりました。

成人式においては、新成人による実行委員が企画から準備、運営まで携わり、224人の二十歳の思い出を創り上げてくれました。

青少年健全育成においては、平成28年度に全面改訂を行った「新みやしろ郷土かるた」を用いたかるた大会に、過去最多となる107チーム・321人が出場し、競技を通して郷土愛と仲間との絆の大切さを学びました。

また、日本工業大学との連携により開校している「子ども大学みやしろ」には、41人の児童が入学し、普段の学校生活では得ることができない学びと体験の機会を提供し、子供たちの学びの意欲の高揚等を促すことができました。

3. 町立図書館

町立図書館については、指定管理者の(株)図書館流通センターにより、利用環境の改善などのサービス向上に努めるとともに、町内の小中学校図書室への支援活動にも引き続き積極的に取り組みました。

自主事業においては、映画会、小学校の夏休み期間を利用した科学あそび教室や工作会、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを活用したコンサートの定期開催など、子供から高齢者向けの数多くの事業を実施しました。

さらに、読書感想文教室や子ども司書講座、東武動物公園の協力を得ての園内フィールドワーク、中学生を対象としたビブリオバトルなど、図書資料を活用した事業を通じて、児童・生徒の読書活動の推進に大きく寄与しました。

また、多くの町民ボランティアの協力のもと、乳幼児を対象とした「えほんの会」や「ブックスタート」など、小さなお子さん連れの保護者の方にとっても喜ばれる身近な図書館となるように努めました。

4. スポーツ振興

町民の健康づくりや親睦と交流、競技力の向上などを目的に、体育協会、レクリエーション協会と連携協力し、町民スポーツ大会や綱引大会等の様々な事業に取り組みました。

指定管理第3期目を迎えた総合運動公園では、指定管理者ミズノグループのノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開しました。また、スポーツ振興くじ助成金を活用してトレーニング室にランニングマシン2台とコンディショニングマシン1台を設置し、利用者が効率よく運動できる環境を整えました。

体育施設の利用については、総合運動公園では年間の利用者総数が219,466人となり、6年連続で20万人を超えるとともに、宮東テニスコートなどのグラウンドでは延べ46,654人、学校の体育館や校庭での学校開放においては38,105人の利用があり、多くの方々のスポーツ、健康づくりの場として活用をいただくことができました。

また、スポーツ推進委員が中心となって企画運営を実施した小学生のためのスポーツ教室「あそびと運動（トライ及びチャレンジ）」には、延べ251人が参加し、スポーツ少年団への委託事業として実施した「少年少女スポーツフェスティバル」「ロードレース大会」と併せて、小学生のスポーツを通じた交流の促進を図ることができました。

5. 文化財保護

文化財保護事業では、ふるさと納税制度を活用し、五社神社に文化財案内板を設置することにより、地域の歴史、由来を知っていただくことができました。

また、個人住宅等の建設に伴う試掘調査を実施したほかに、試掘調査の結果をうけて、姫宮神社遺跡の発掘調査を実施しました。同遺跡の調査では、古墳時代の住居跡1軒、古墳の周溝2条の検出のほか、土器・埴輪片などが出土し、貴重な遺跡の概要を把握することができました。

郷土資料館においては、町内の歴史や文化の一端を知っていただくために特別展や企画展を開催しました。特別展においては、宮代における消防制度の変遷を、収蔵している資料等を通して紹介した「みやしろの消防」を開催しました。また、企画展では「身のまわりの生活史11 まなぶ」、「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ・平成編～」のほか、これまでの調査によって判明した遺跡を紹介した「宮代の遺跡～土の中文化財～」を開催するなど、多くの方々に来館していただくことができました。

夏休みを中心とした各種の講座においては、「縄文土器づくり教室」、「かやぶき民家で聞く昔話」、「御朱印帳づくり体験講座」などを通じて、子どもをはじめ多くの町民の皆様に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。

■ 令和2年度後期実行計画

人権尊重平和事業	33
公共施設再編第2期計画	58

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	177
不登校対策事業	178
小中一貫教育推進事業	178
町民みんなが先生推進事業	180
英語教育推進事業	180
小学校施設管理事業	181
小学校要準特別支援教育就学援助事業	181
小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	182
小学校環境教育推進事業	182
中学校施設管理事業	183
中学校要準特別支援教育就学援助事業	183
中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	184
学校給食運営管理事業	184
社会教育活動事業	185
人権教育推進事業	186
青少年健全育成事業	188
公民館管理運営事業	190
図書館管理運営事業	191
総合運動公園管理事業	194
社会体育施設維持管理事業	196
生涯スポーツ振興事業	197
文化財保護事業	199
埋蔵文化財発掘調査事業	200
資料館管理運営事業	201

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
489,000	347,120	0	0	0	0	347,120

【主な実施内容】

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料の作成

小学校版として交通安全対策啓発用ポスターと作文を、中学校版として防犯対策啓発用ポスターと作文をつくり、そのポスターの中に標語も掲載しました。作成した児童生徒の創意工夫あふれるポスターや作文は、リーフレット「気をつけて」にまとめ、児童生徒全員に配布するとともに、ポスターは各学校及び進修館、ぐるる、公民館、図書館等の公共施設に掲示し、その啓発を図りました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後時において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校300人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

【成 果】

登下校指導及び交通安全対策啓発資料等の活用もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

不登校対策事業

〔学校教育担当〕

決算書 P166

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,181,000	8,064,959	0	2,850,000	0	0	5,214,959

【主な実施内容】

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

【成 果】

令和元年度の不登校の児童生徒は21人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員（さわやか相談員）、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー4人の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.14%、中学校においては2.67%です。

小中一貫教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P166

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,360,000	2,282,297	0	0	0	0	2,282,297

【主な実施内容】

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

宮代町立小中学校一貫教育推進委員会を実施し、その話し合いの結果を生かし、宮代町の小中一貫教育を推進しました。

須賀小・中学校では、「生きる力を育む小中一貫教育」を研修課題として、令和元年度は基礎学力の向上を中心として小・中共通した目標や取組を設定しました。校長の交換講話、相互の授業参観、児童生徒の交流活動等を実施し、その成果を示すことができました。

また、東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、小中学校9年間の学びの連続性を重視した学習指導を実施し、ゆずり葉プランを策定し、小中で連携した教育を推進しました。また、小学校での出前授業や児童生徒の交流活動等を実施し、小・中の教職員がお互いの学校の教育活動等を理解し合うとともに、指導法等について話し合い、小中学校で目指す児童生徒像の具現化に向け、今後の学校の教育活動に生かすことができました。

さらに、百間小学校・前原中学校では、目指す児童生徒の学習や生活の姿を小中一貫教育推進計画（Mプラン）としてまとめ、「私の志ノート」の取組を通して9カ年での夢に向かって全力で取り組む児童・生徒の育成を推進しました。さらに、「家庭学習の手引き」の改善、中学生が小学生に学習ボランティアとしてサマースクールで支援を行うなどの児童生徒間交流、小中学校長の交換講話等を実施し、その成果を示すことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、担任が外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。外国語活動・英語教育推進委員会主催で夏期研修会を開催しました。小学校教員、中学校英語担当教員が参加し、大学教授の講演を伺い、その後、指導実践研修を行いました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小学生と中学生が一堂に会して小・中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、道徳授業公開、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。特に、教職員間の交流では、小・中学校の教員がお互いの学校の教育活動を理解し合うとともに、指導方法等について話し合い、それぞれの学校の教育活動に生かすことができました。また、児童生徒間の交流では、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。平成30年度から2年間、文部科学省の指定を受けて実施した「教育課程特例校」において、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の英語科授業を行いました。百間中学校区の研究の成果を他の中学校区にも広め、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P166

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
883,000	824,944	0	439,000	0	0	385,944

[主な実施内容]

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で14人の方々が中学生の指導を行いました。

[成 果]

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,923,000	16,112,949	0	0	0	1,000,000	15,112,949

[主な実施内容]

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。また、夏季休業中にも英語スピーチ大会に向けた指導をしました。

[成 果]

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童生徒が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小・中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P172

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
259,368,000	126,200,082	11,326,000	0	26,000,000	1,992,162	86,881,920

※平成30年度からの繰越分を含みます。

※令和元年度予算のうち、107,363,000円を令和2年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕

主なもの

内 容	契約期間	金額 (円)
宮代町立小学校劣化診断調査業務委託	R1.7.16~R2.2.28	10,560,000
宮代町立笠原小学校職員駐車場整備工事	R1.7.4~R1.9.30	4,536,000
宮代町立小中学校パソコン教室整備等賃貸借契約	R1.10.1~R6.9.30	9,771,468
小中学校特別教室エアコン設置工事 (H30 繰越)	R1.10.1~R2.3.31	31,829,600
小中学校特別教室エアコン設置付帯工事 (H30 繰越)	R1.10.16~R2.3.31	1,678,884

[成 果]

小学校4校の劣化診断を実施し、校舎、電気設備、機械設備等の劣化状況について調査しました。また、パソコン教室のリプレースを実施し、タブレット端末、メディアボックス等の導入を実施しました。加えて、特別教室へのエアコン設置により、快適な学習環境の向上を図ることができました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P176

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,048,000	10,313,582	186,000	0	0	0	10,127,582

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は132人(7,931,931円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は14人(396,851円)となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給を昨年度から開始しました。事前支給者は36人(1,984,800円)となりました。

小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P176

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,441,000	15,705,713	0	0	0	4,000,000	11,705,713

[主な実施内容]

■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を1校あたり2人、全小学校で8人配置し、学習内容や児童の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

[成 果]

非常勤講師の配置により、担任と協力しながらチームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができました。特に算数の指導において、各学校とも担任と非常勤講師が連携を図り、児童の伸びや課題を明確にし、児童一人ひとりの実態に応じた指導を行うことで、基礎・基本の定着を図ることができました。

小学校環境教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P176

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,000	3,360	0	0	0	0	3,360

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

[成 果]

令和元年12月11日に進修館で開催した「宮代町キッズエコサミット」には、小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で取り組んだ環境への取組を紹介しました。今年度も、埼玉県環境部の方を講師に招き、「ゴミをへらそう」についてパネルディスカッション方式で御講演いただきました。無駄を減らし環境を大切にしようとする意識の高まりを、参加した児童・生徒の意見や感想から感じることができました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」を開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小・中学生が取り組み、「家族が1つの部屋に集まって電気節約」「夏野菜で体を冷やす作戦」など子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小・中学生が「重ね着で体を温める」「太陽の光を有効活用」などの取り組みが見られました。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P180

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
203,627,000	94,620,421	16,389,000	0	32,100,000	1,500,000	44,631,421

※平成30年度からの繰越分を含みます。

※令和元年度予算のうち、72,925,000円を令和2年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕

主なもの

内 容	契約期間	金額 (円)
宮代町立小中学校パソコン教室整備等賃貸借契約	R1. 10. 1～R6. 9. 30	7,328,604
小中学校特別教室エアコン設置工事 (H30 繰越)	R1. 10. 1～R2. 3. 31	40,770,400
小中学校特別教室エアコン設置付帯工事 (H30 繰越)	R1. 10. 16～R2. 3. 31	1,995,116

[成 果]

パソコン教室のリプレースを実施し、タブレット端末、メディアボックス等の導入を実施しました。加えて、特別教室へのエアコン設置により、快適な学習環境の向上を図ることができました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P182

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,149,000	9,651,140	333,000	76,000	0	0	9,242,140

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は100人(9,176,480円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は13人(474,660円)となりました。

中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P182

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,636,000	18,011,300	0	0	0	4,000,000	14,011,300

[主な実施内容]

■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、1校あたり2人、全中学校で6人配置し、学習内容や生徒の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

[成 果]

非常勤講師の配置により、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、学習指導を充実させることができました。

その教科が苦手な生徒や理解に時間がかかる生徒等、個別に支援が必要な生徒への指導を充実させることができました。特に数学に関しては、少人数指導や習熟度に応じた指導等を充実させ、生徒の基礎学力の定着及び学力の向上において成果を得ることができました。

学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P196

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
315,137,000	306,478,175	0	0	0	102,492,076	203,986,099

[主な実施内容]

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を5回（新型コロナウイルスの感染防止の観点から最終回は中止）、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。

また、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和元年度	30年度	29年度
品 目 数	3 2 品 目	3 2 品 目	3 2 品 目
使 用 量 (米・野菜等)	米 20.4 トン 野菜等 12.9 トン	米 23.3 トン 野菜等 10.9 トン	米 23.4 トン 野菜等 6.8 トン

[成 果]

- ・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

- ・アレルギー対策

食物アレルギーを持っている児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

- ・放射線対策

学校給食に使用する食材産地（毎月）と学校給食に使用する食材の放射性物質測定（毎週）を行い、その結果を公開しています。

社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P 184

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,072,000	1,913,411	0	0	0	679,558	1,233,853

[主な実施内容]

生涯学習のまちづくりの実践として各種事業を行いました。

■みやしろ大学の開催

804,003 円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいつくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなど、計8回開催し、延べ1,293人が参加しました。

回	テーマ・内容 (★=公開講座)	開催日	場 所	参加者数
1	大人のための足育	4月16日(火)	進修館大ホール	227人
2	ウォーキング ～宮代町の隠れた魅力を再発見～	5月14日(火) 5月21日(火)中止	宮代町内	65人
3	地域デビュー「初めの一步」	6月18日(火)	進修館大ホール	181人
4	音楽の時間 ～マンドリン・コンサート～	7月16日(火)	進修館大ホール	207人
5	視覚の時間 人間の目と動物の目・いろいろな錯視★	9月17日(火)	進修館大ホール	175人
6	県外研修 ～榛名神社・水沢観音堂・ 伊香保おもちゃと人形自動車博物館～	10月8日(火)	群馬県高崎市、 渋川市ほか	95人
7	地域の消費者被害を防ぐには★	11月19日(火)	進修館大ホール	173人
8	相続おしかけ講座★	12月17日(火)	進修館大ホール	170人

■町民文化祭の開催

761,278 円

(令和元年11月2日(土)～11月5日(火))

宮代町文化協会との共催により第41回宮代町民文化祭を開催し、舞台発表や制作教室に延べ1,406人、作品展示に延べ1,784人が参加しました。また、文化公演会「塚越慎子マリンバファンタジー・コンサート」には、286人が来場しました。

■成人式の開催(令和2年1月12日(日))

254,825 円

新成人による実行委員会の企画運営により式典及びアトラクションを開催し、224人の新成人が参加しました。

[成 果]

みやしろ大学の受講生アンケートでは、81%の満足度を得ることができました。

町民文化祭は、町民の日頃の生涯学習活動の成果を発表する場となるとともに、鑑賞者が文化・芸術活動に参加するきっかけづくりの場とすることができました。また、文化公演会では、軽快で音色の美しいマリンバコンサートにより、来場者に音楽に親しんでいただく機会を提供することができました。

成人式では、恩師からのメッセージや新成人の決意発表等が行われ、新たな門出にふさわしい式となりました。

人権教育推進事業

〔生涯学習室〕

決算書 P184

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
925,000	639,673	0	0	0	0	639,673

[主な実施内容]

差別の解消に向けて、様々な人権問題を理解していただくために、広い世代にわたり研修、啓発活動を行いました。

■子ども人権講座の開催

40,000 円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなって見えたもの」を開催し、249人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集(あおぞら第25集)の発行

94,861 円

小中学校の児童生徒による人権作文・標語の作品集の作成と発表会を開催し、発表会会場校の5年生・6年生128人、一般36人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

348,508 円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を行いました。

[成 果]

子ども人権講座では、視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話していただき、子どもたちにとって生きることの示唆をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成活動は、児童生徒一人ひとりが人権問題について考える機会となりました。また、みやしろ大学の県外研修の車中において研修を行うことで、子どもから高齢者まで幅広い年代の方に人権を考える機会を提供させていただいたことで、自分の大切さ、他の人の大切さを認識することができ、人権尊重の精神を養うことができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,128,000	725,657	0	0	0	97,000	628,657

[主な実施内容]

■子ども大学みやしろ 30,000円

日本工業大学及び町内活動団体と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講 義 名	期 日	場 所	参加者数
シオマネキ型ロボットハンドを作ろう	9月15日(日)	日本工業大学 スチューデントラボ	38人
3Rについて知ろう	9月23日 (月・祝)	日本工業大学 応用化学棟	38人
身近な環境から学ぶ 持続可能な社会へのヒント	11月10日(日)	新しい村 村の集会所、 山崎山	39人
デザイナー体験	11月17日(日)	日本工業大学 スチューデントラボ	39人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会の開催 74,316円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。

大 会 名	期 日	場 所	対 象	参加者数
新みやしろ郷土かるた大会	7月7日(日)	進修館大ホール ・小ホール	小学校1～6年生	321人
彩の国21世紀郷土かるた 宮代大会	1月19日(日)	進修館大ホール	小学校4～6年生	55人

■宮代町青少年相談員サマーキャンプ 168,000円

令和元年7月26日から2泊3日で、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」で実施され、小中学生22人が参加しました。

■放課後子供教室の開催 356,902円

国の「放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施しました。

回	プログラム	期 日	講 師	参加者数
1	昔遊び	7月17日(水)	宮代町さわやかクラブ連合会	26人
2	ニューススポーツ体験	9月18日(水)	宮代町スポーツ推進委員	27人
3	卓球体験	10月16日(水)	宮代町卓球連盟	29人
4	森のクラフト作り	11月27日(水)	里山守り隊	27人
5	ニューススポーツ体験	12月11日(水)	宮代町スポーツ推進委員	26人
6	卓球体験	1月15日(水)	宮代町卓球連盟	20人
7	昔遊び	2月19日(水)	宮代町さわやかクラブ連合会	28人

※3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

[成 果]

子ども大学みやしろでは、学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

郷土かるた大会では、競技をとおして、仲間づくりや郷土愛を育む機会を設けることができました。新みやしろ郷土かるた大会については、過去最多となる107チーム321人が参加し、彩の国21世紀郷土かるた大会については、令和2年2月に開催された埼葛北大会の個人戦の部において、宮代町代表が第2位の成績を収めました。

放課後子供教室では、令和元年度からのモデル事業として百間小学校において実施しました。参加者は、1年生～6年生を対象に33名の児童が登録し、7月から月1回のペースで計7回開催し、延べ183人の児童が参加しました(1回あたり平均参加者数26人)。

青少年相談員サマーキャンプでは、自然体験や集団活動をとおして、子供たちの「生きる力」や「協調性」を育むとともに、青少年育成活動の担い手の育成にも寄与することができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,064,000	11,196,956	0	0	0	2,395,700	8,801,256

※平成 30 年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

令和元年度は、百間公民館は 302 日、川端公民館は 306 日、和戸公民館は 300 日開館し、3 館で合計 50,080 人が利用しました。

		元年度 A	増減 A-B	30 年度 B	29 年度
百間公民館	利用回数	1,515	7	1,508	1,422
	利用人数	16,639	△466	17,105	16,196
川端公民館	利用回数	2,022	△60	2,082	1,982
	利用人数	18,306	△631	18,937	17,731
和戸公民館	利用回数	1,728	△23	1,751	1,732
	利用人数	15,135	△708	15,843	16,021
合 計	利用回数	5,265	△76	5,341	5,136
	利用人数	50,080	△1,805	51,885	49,948

■施設の主な工事等

工 事 名	金額 (円)
和戸公民館空調設備更新工事	6,210,000
百間公民館非常階段等撤去工事	1,100,000

[成 果]

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

また、和戸公民館において、空調設備の老朽化による更新工事（平成 30 年度からの繰越事業）を実施したほか、百間公民館においては老朽化した非常階段等撤去工事を実施し、駐車スペース 2 台分を確保するとともに、川端公民館の 2 階和室の畳取り換えを実施し、利用環境・安全性の向上を図りました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
85,862,000	85,803,890	0	0	0	0	85,803,890

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	元年度 A	増減 A-B	30年度 B	29年度
開館日数 (日)	288	△2	290	291
貸出者数 (人)	80,695	△11,295	91,990	97,623
うち広域対象	23,320	△11,285	34,605	37,154
貸出冊数 (冊・点)	282,958	△48,934	331,892	358,647
うち広域対象	77,872	△50,382	128,254	143,402

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月6日から一部サービスを中止

■図書等の所蔵数の状況

	元年度 A	増減 A-B	30年度 B	29年度
図書 (冊)	262,247	2,013	260,234	257,112
うち一般書	200,011	1,122	198,889	196,708
うち児童書	62,236	891	61,345	60,404
視聴覚資料 (点)	8,150	72	8,078	8,043
合計	270,397	2,085	268,312	265,155

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例（定期）行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ4,026人が参加しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月に予定していた事業は中止

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全9回	147人
紙芝居と折り紙	全10回	211人
おはなし会	全16回	156人
子ども映画会	全9回	225人
ライブラリーシアター	全11回	438人
すいようえほんの会～0. 1. 2. 3～	全20回	261人
にちようえほんの会	全10回	104人
ベビーマッサージ&あかちゃんえほんの会	全7回	113人
キッズタッチ&えほんの会	全1回	2人

ピアノ名演奏を満喫する会 (ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用)	全 11 回	197 人
ブックスタート事業	全 12 回	233 人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
子ども読書の日記念行事「としょかんこどもまつり」	4月21日(日)	300人
第15回朗読会	5月26日(日)	23人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画の会	全3回(7月～8月)	113人
夏休み子ども映画会	7月28日(日)、8月25日(日)	52人
夏休み子ども平和映画会	8月4日(日)	31人
夏休み科学あそび教室	8月2日(金)	30人
夏休みおはなし工作会	8月3日(土)	22人
夏休み読書感想文教室	8月24日(土)	29人
落語を楽しむ会(DVD)	9月22日(日)	20人
図書リサイクル市	10月5日(土)・6日(日)	100人
クリスマスお楽しみ会	12月22日(日)	120人
ぬいぐるみおとまり会	1月12日(日)	26人
第26回大人も楽しめる紙芝居の集い	1月26日(日)	50人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
新元号令和についての講演	4月3日(水)	15人
天皇陛下即位三十年 DVD 鑑賞	4月30日(火)	16人
よみうり回想サロン in 宮代	全6回(5月～11月)	178人
子ども司書講座～図書館マスターになろう!～	全12回(7月～11月)	78人
動物園のひみつ! 調べ学習フィールドワーク	7月29日(月)・30日(火)	54人
夜のこわ～いおはなし会	8月25日(日)	140人
加藤三男氏講演会	9月23日(水)	150人
ナクソスのおもちゃ箱	9月29日(日)	18人
耳で聞いて楽しむ古事記	全3回(10月～1月)	90人
R40 大人のビブリオバトル埼玉予選会	10月19日(土)	24人
産後ママの心と体の癒しケア	10月29日(火)	4人
大人のための16ミリ映画会	10月30日(水)	34人
ビブリオバトル中学生大会	11月10日(日)	26人
生きる力を育てるために	11月8日(金)・15日(金)	33人
バリアフリー映画会	11月27日(水)	33人
笑いとユーモアを科学する	12月1日(日)	36人
初笑い 昭和の名人芸を聴く会	1月13日(月・祝)	35人
大人も楽しめる紙芝居の集い	1月26日(日)	26人
宮代の近代建築	2月9日(日)	50人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供によって、利用者アンケートの総合評価においても、回答者の約85%の方から「満足」「おおむね満足」の評価をいただきました。

また、新規事業として、特別企画「大人のための16ミリ映画会」や地域住民との協働企画講座「宮代の近代建築」、町民の企画協力によるシニア向けイベント「よみうり回想サロン in 宮代」などの開催により、幅広い世代の利用者の確保を図ることができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
66,806,000	64,918,845	0	0	0	2,428,781	62,490,064

[主な実施内容]

■総合運動公園の利用状況

令和元年度は321日開園し、219,466人が利用しました。

		元年度 A	増減 A-B	30年度 B	29年度
テニスコート	利用件数	3,047	22	3,025	3,104
	利用人数	22,192	△1,886	24,078	25,450
多目的広場	利用件数	122	△27	149	151
	利用人数	7,646	△2,553	10,199	8,711
野球場	利用件数	218	△47	265	234
	利用人数	13,568	△4,681	18,249	16,668
ソフトボール場	利用件数	178	△8	186	196
	利用人数	5,573	215	5,358	4,902
メインアリーナ	利用件数	1,507	190	1,317	1,401
	利用人数	34,621	4,148	30,473	30,650
サブアリーナ	利用件数	1,414	114	1,300	1,286
	利用人数	20,118	△894	21,012	21,486
剣道場	利用件数	658	42	616	590
	利用人数	13,988	△1,909	15,897	15,742
柔道場	利用件数	503	△2	505	473
	利用人数	9,095	564	8,531	7,232
弓道場	利用件数	1,187	18	1,169	1,136
	利用人数	4,934	△114	5,048	4,744
会議室	利用件数	377	26	351	372
	利用人数	6,702	1,569	5,133	4,024
研修室	利用件数	308	△70	378	370
	利用人数	9,380	2,178	7,202	6,505
トレーニング室	利用件数	15,603	242	15,361	14,457
	利用人数	15,603	242	15,361	14,457
室内プール	利用件数	33,849	△3,872	37,721	35,231
	利用人数	56,046	△5,483	61,529	57,384
合計	利用件数	58,971	△3,372	62,343	59,001
	利用人数	219,466	△8,604	228,070	217,955

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月6日からトレーニング室、3月13日から室内プールの利用を中止。

■教室等の自主事業実施状況

各教室の参加人数

教 室	元年度 A	増減 A-B	30 年度 B
水 泳	27,946	△3,314	31,260
テ ニ ス	5,597	△652	6,249
体 育	2,015	△809	2,824
新 体 操	941	△116	1,057
フ ッ ト サ ル	1,458	527	931
バスケットボール	1,383	148	1,235
バドミントン	478	△59	537
健 康 教 室	1,018	△62	1,080
ヨ ガ	1,679	132	1,547
卓 球	1,374	21	1,353
ラージボール卓球大会	415	△70	485
60才から始める 健康プログラム	504	273	231
60才以上の体力測定	17	△10	27
その他大会・教室	998	△291	1,289
合 計	45,823	△4,282	50,105

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月3日から子供を対象とした自主事業、
3月17日から全ての自主事業を中止。

■施設の主な修繕

内 容	金額 (円)
総合運動公園野球場バックネット修繕工事	928,800
総合運動公園野球場放送棟空調設置工事	1,257,174
総合運動公園野球場整備工事(内外野段差解消)	2,200,000

[成 果]

指定管理者であるミズノグループのノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも20万人以上の方に施設を利用していただきました。

また、利用者が効率よく運動できる環境を整えるため、スポーツ振興くじ助成金を活用してトレーニング室にランニングマシン2台とコンディショニングマシン1台を設置し、利用人数を増やすことができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,843,000	4,756,841	0	0	0	333,204	4,423,637

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和元年度は359日開所し、46,654人が利用しました。

		元年度 A	増減 A-B	30年度 B	29年度
前原グラウンド	利用件数	329	△7	336	391
	利用人数	7,588	△1,062	8,650	10,960
東 条 原 グ ラ ウ ン ド	利用件数	320	△23	343	353
	利用人数	5,513	△807	6,320	6,484
東グラウンド	利用件数	288	△73	361	569
	利用人数	5,181	△2,750	7,931	15,632
宮東グラウンド	利用件数	691	58	633	608
	利用人数	12,197	△4,855	17,052	20,785
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,592	△50	1,642	1,738
	利用人数	13,764	△1,752	15,516	15,010
アーチェリー場	利用件数	2,411	380	2,031	1,663
	利用人数	2,411	380	2,031	1,663
合 計	利用件数	5,631	285	5,346	5,322
	利用人数	46,654	△10,846	57,500	70,534

[成 果]

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

また、自治会等には、地域の夏祭りや防災訓練の会場として利用され、地域コミュニティの活性化が図られました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,157,000	1,579,751	0	0	0	252,200	1,327,551

【主な実施内容】

町民スポーツ大会、綱引大会などの大会のほか、児童のスポーツに触れる機会として、「あそびと運動」を行うなど、子どもから高齢者まで多くの町民がスポーツに親しめる機会を設けました。

■第47回町民体育祭

466,820 円

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的に企画し、13チーム（36地区）の申し込みがありましたが、台風19号の接近により中止となりました。

期日 10月13日（日）

会場 宮代町総合運動公園 多目的広場他

■町民スポーツ大会

526,077 円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を9種目実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7月～8月	総合運動公園野球場	14チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	18組
ソフトテニスの部	10月	総合運動公園テニスコート	36組
ソフトボールの部	9月	総合運動公園ソフトボール場他	14チーム
サッカーの部	11月	総合運動公園多目的広場	4チーム
剣道の部	10月	総合体育館メインアリーナ	104人
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	7チーム
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	72人
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	19人

■第36回宮代町綱引大会

89,391 円

町民の健康づくりと親睦・交流を図るため、綱引大会を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数（チーム）
宮代町綱引大会	12月8日（日）	総合体育館メインアリーナ	253人（25チーム）

■少年少女スポーツ振興事業

100,000 円

幼児から小学生までを対象に、スポーツに親しむ機会及びスポーツを始める機会を提供し、また、スポーツを通じた交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月16日(日)	総合運動公園 メインアリーナ	305人
ロードレース大会	2月8日(土)	総合運動公園	312人

■その他の事業

397,463 円

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第22回ファミリーハイキング 10月26日(土)	秩父方面	ハイキングの楽しさやすばらしい風景を味わい、家族のふれあいを深めました。	40人
第45回年少者スキー教室 1月11日(土)～12日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図りました。	146人
さいかつぼーる体験 5月～2月(8月を除く)	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供しました。(年間9回開催)	延べ76人
あそびと運動(トライ) 5月～6月(春季) 10月～11月(秋季)	総合体育館 サブアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施しました。(各季5回)	春季 延べ78人 秋季 延べ62人
あそびと運動(チャレンジ) 5月～2月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施しました。(13回)	延べ111人

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月に予定していた、さいかつぼーる体験1回、あそびと運動(チャレンジ)2回を中止。

[成 果]

小学生を対象としたあそびと運動教室から大人向けのさいかつぼーる体験まで、幅広い世代が参加できる事業を展開し、町民がスポーツに親しめる機会を創出することができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
965,000	523,849	0	0	0	187,000	336,849

[主な実施内容]

文化財の保護、保存、管理、文化財意識の啓発普及及び指定文化財の保護団体に補助を行いました。

■文化財保護委員会の運営 99,600 円

文化財の指定を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を平成30年度に引き続いて行いました。

■文化財案内板の設置 187,000 円

ふるさと納税を活用し、五社神社（字東地内）に、その歴史や由来を記した案内板を設置しました。（ふるさと歩道の盤面交換）

■指定文化財保存事業への補助 17,000 円

指定文化財を保護、保存することを目的に、指定文化財所有者に対し補助を行いました。

埼玉県指定有形文化財五社神社 本殿防災設備保守点検

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計40基となり、これまでの設置したものと合わせて広く地域の歴史、由来を知っていただくことができました。

なお、3月に開催予定であった歴史講座については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止としました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,955,000	9,533,343	2,500,000	1,250,000	0	0	5,783,343

[主な実施内容]

文化財保護法の規定により開発行為に係る事前の記録保存を目的とした発掘調査、整理作業を行いました。

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計 292 件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第 93・94 条の規定に係る発掘届が 19 件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

発掘届の原因 個人住宅 14 件・個人農業倉庫建設 1 件・分譲住宅 1 件・

携帯電話基地局建設 1 件・その他(保育園駐車場拡張、フェンス設置)2 件

指示事項 発掘調査 1 件・工事立会 4 件・慎重工事 14 件

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

1,676,095 円

19 件、総面積 273 m²で試掘調査を実施しました。

調査の原因 個人住宅 16 件・個人農業倉庫建設 1 件・分譲住宅 1 件・

携帯電話基地局建設 1 件

■埋蔵文化財の発掘調査

1,585,580 円

姫宮神社遺跡で調査面積 278 m²の発掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代早期の炉穴 2 基、古墳時代の住居跡 1 軒、古墳の周溝 2 条を検出し、縄文土器、土師器、埴輪片などが出土しました。

調査の原因 個人住宅 1 件

■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、平成 29 年度道仏遺跡調査では出土遺物の復元作業や石膏入れ、第 2 原図作成などを行いました。平成 29 年度姫宮神社遺跡調査では出土遺物の原図作成作業を行いました。昭和 63 年度地蔵院遺跡第 1 次調査ではトレース作業、仮原図作成などを行いました。地蔵院遺跡第 2 次調査では遺物水洗、土器抽出、第 2 原図作成などを行いました。

[成 果]

これまでに実施した発掘調査に対しての文化財調査報告書を刊行するための準備として、遺物や原図の整理作業を進めることができました。

元年度予算 (円)	元年度決算 (円)	元年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,323,000	12,026,066	0	0	0	4,053,700	7,972,366

[主な実施内容]

資料館事業として、各種の展示、講座、教室等を開催しました。

■郷土資料館の利用状況

令和元年度は、282日開館しました。

元年度 A	増減 A-B	30年度 B	29年度
10,844人	△1,834人	12,678人	13,959人

■資料寄贈等

町民の方をはじめとした方々から、民具や古文書等28件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約260冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

247,228円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展	「みやしろの消防」	令和元年10月～12月	1,783人
企画展	「道仏遺跡発掘出土品展」	平成31年3月～5月	1,259人 (4・5月分のみ)
	「身のまわりの生活史11 まなぶ」	令和元年5月～7月	1,805人
	「広報みやしろ ～発信された宮代あれこれ 平成編～」	令和元年7月～10月	3,329人
	「おひなさま」	令和2年1月～3月	2,208人
	「宮代の遺跡～土の中の文化財～」	令和2年3月～7月	460人 (3月末まで)

■各種講座・体験学習教室の開催

30,966円

事業名	内 容	参加者数
琵琶のしらべ	5月26日実施。旧加藤家住宅の座敷を舞台に、町内在住の薩摩琵琶奏者などを迎えて、琵琶の演奏と講談の上演。	40人
御朱印帳づくり 体験講座	6月22日実施。一般を対象。蛇腹式といわれる形の御朱印帳の制作体験	13人

夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	小中学生を対象、7月26日～8月9日 計6回 縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、しぼり染め、和とじノートづくり	延べ 119人
移築民家と 「アタラシイ」ゲキ16	9月16日、旧加藤家住宅の座敷において実施。町に伝わる昔話や伝説など、歴史的な題材を中心とした創作演劇	20人
縄文土器づくり 教室	小中学生対象、7月20日、8月23日の2日間 土器づくりと土器焼き体験	19人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月3日、旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスの協力により、民話や昔話を聞く会を開催した。	20人

■資料整理

118,305円

1. 町内から寄贈された古文書や歴史資料の整理を行いました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理、目録化等を行いました。

■普及、啓発

学校教育への対応、受入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校から6回の依頼があり、対応しました。
2. 中学生社会体験チャレンジ事業について、中学生13人を受け入れました。
3. 団体利用が20件ありました。
4. 職員派遣申請が4件あり、職員の派遣を行いました。
5. 資料の館内利用が7件ありました。

■外溝等整備工事測量設計業務委託

4,015,000円

敷地の一部返還に伴う、駐車場、フェンスなどの敷地内設備の移設及び改修のための測量設計委託を行いました。

[成 果]

特別展や企画展を開催し、町内の歴史や文化の一端を知っていただくことができました。

特別展では「みやしろの消防」を開催、明治時代になってから整えられていった消防制度が、宮代町域ではどのように整備されていったのかを、収蔵資料で紹介しました。企画展では道仏遺跡で行われた発掘調査の成果を紹介する展示「道仏遺跡発掘出土品展」や、「広報みやしろ」の平成に入ってからの記事について、どのような情報が発信されてきたのかを紹介する「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ・平成編～」を開催しました。また、各種の講座や体験教室を通じて、町内の小中学生をはじめ多くの方々に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。